

## 事業計画書

事業名		聴覚障害者のための和太鼓ワークショップ事業
団 体	名称	備中邦楽の里フェスタ実行委員会
	住所	倉敷市東町 1 - 2 1 倉敷町家トラスト事務所内
	遂行責任者	代表 坂ノ上博史

### 1 団体の目的

\* 定款、規約、会則等に定めている目的を、そのまま転記してください。

(目的)

第 2 条 本実行委員会は、和楽器を使った和の音楽文化を活かした地域活性化事業、ならびに関連する事業を行うことを主な目的とする。

2 文化振興及び観光客誘致の観点から、倉敷市文化振興基本計画(平成 22 年策定)に即して、「倉敷川畔伝統的建造物群保存地区」をはじめ、下津井地区、玉島地区の町並み保存地区を中心とした歴史的地域を文化遺産として定義し、当該地域において、イベント及びワークショップ及び関連事業を実施する。

3 和楽器アーティストの社会貢献の観点から、備中地域における社会課題・地域課題の解決に資する事業を、アーティストや関連団体等との連携によって、実施する。

4 備中地域における和楽器アーティスト及び関連業種・業態における職業能力の開発と雇用機会の創出に資する事業を実施する

### 2 事業の分野

\* 次のいずれか該当する分野に☑をしてください (複数選択可)。

☑保健, 医療又は福祉の増進 ☑社会教育の推進 □まちづくりの推進  
 観光の振興 農山漁村又は中山間地域の振興 ☑学術, 文化, 芸術又はスポーツの振興  
 環境の保全 災害救援 地域安全 人権の擁護又は平和の推進 国際協力  
 男女共同参画社会の形成の促進 子どもの健全育成 情報化社会の発展  
 科学技術及び学術の推進 経済活動の活性化 ☑職業能力の開発及び雇用機会の創出  
 消費者保護 団体の運営又は活動に関する連絡, 助言又は援助

### 3 現状と課題

#### ( 1 ) 地域の状況や市民ニーズ

平成 28 年度備中邦楽の里フェスタにおいて「小学生対象の和楽器ワークショップ（講師：山部泰嗣／倉敷天領太鼓）」を実施したところ、終了後に、参加者の保護者の方から、「実はうちのこどもは、耳が聞こえないのですが、和太鼓の体験をととても楽しんでいました」との感想を頂戴しました。

その後、聴覚障害者の方と意見交換をすると、太鼓は耳が聞こえなくても、空気の振動でリズムや場の一体感を楽しめることが分かりました。しかし、一般の音楽体験ワークショップなどに参加することは、周りの人に迷惑をかけないか、指示が言葉で説明されてわかるか、など不安が大きいこともわかりました。

#### ( 2 ) 本事業で取り組む地域課題

- ・聴覚障がい者の生きがいと社会参加

聴覚障害者であっても音楽を楽しむことができる機会を設けます。また、発表の場を通じて、地域社会への参加ができるようにつなげます。

- ・アーティストの社会貢献

アーティスト（今回の場合、和太鼓の演奏者・指導者）が社会貢献できる機会を設ける。

- ・プログラムの検討・開発

聴覚障害者が健常者とともに参加出来る和太鼓体験プログラムについて、検討を行う。

### 4 目的と概要

#### ( 1 ) 事業の目的

- ・聴覚障害者のいきがいと社会参加、コミュニケーションのきっかけとなる、文化体験の場の創出。

（イメージ：聴覚障害者とその家族が、太鼓をコミュニケーションのツールとして、一緒に楽しむことができる。また、イベント参加などを目標にすることによる意欲が高まり、社会参加へのきっかけとなることが期待できる。）

- ・アーティストの社会貢献活動の場の創出。

- ・関連団体等との情報交換と連携強化。

( 2 ) 事業の概要

- ・プログラム開発のための関係者からのヒアリング  
プログラムの開発及びWSの実施に向けて、聴覚障害者支援団体等から、本事業への可能性及び懸念点についての聞き取りを行い、プログラムに反映させます。
- ・聴覚障害者のための和太鼓体験ワークショップの開催 ( WS 1 回 )  
聴覚障害をもつ皆さん及びその家族等を対象とした、和楽器体験の機会を開催します。
- ・発表の機会  
「備中邦楽の里フェスタ2017 (平成29年10月頃を予定 / 本事業とは別事業として実施)」にて、ワークショップの参加者が発表できる機会を設けます。
- ・プログラムの開発、振り返り  
WS講師及び関係者による、実施したプログラムの振り返りを行い、WS運営のノウハウ移転が可能になるように、マニュアル等を整備します ( マニュアル作成については、専門性が高いことから、講師に委託する ) 。

5 受益者と効果

( 1 ) 事業の受益者

- ・聴覚障害者 = 音楽体験と社会参加の機会を得られ、自信につながる。
- ・倉敷市民 = 発表の場を通じて、聴覚障害者等の取組みにふれることができ、文化と福祉の多様なあり方について、考える機会となる。

( 2 ) 事業の実施に期待する効果

- ( 主たる効果 )
- ・参加者の聴覚障害者において、やる気やいきがい、社会参加のきっかけを高めることが期待できる ( アンケートにより検証 ) 。
  - ・講師は、多様な参加者に対する経験を積むことができ、社会貢献の機会ともなる ( ヒアリングにより検証 ) 。
  - ・初年度は、多様な子ども向けなどのワークショップ経験豊富なアーティストを招聘し、プログラムの検討を行う ( プログラム内容により検証 ) 。
  - ・次年度以降は、地域のアーティスト等にも、汎用可能な聴覚障害者のための和太鼓体験プログラムのノウハウ移転を行い、実施できることを目指す ( 次年度以降の展開により検証 ) 。
- ( 潜在的な可能性 )
- ・ボランティア参加者やイベント聴衆に、文化と福祉の多様な価値観を伝える機会となる。
  - ・音楽や和楽器の持つ可能性を広げる。

## 6 団体の能力

### ( 1 ) 団体が持つ能力

- ・音楽ワークショップ、イベントの運営に関する能力

備中邦楽の里フェスタ 2014 ( 玉島 ) 備中邦楽の里フェスタ 2015 ( 倉敷・美観地区 ) 備中邦楽の里フェスタ 2016 ( 倉敷・美観地区 ) 和楽器カフェ(倉敷・美観地区)などの企画、運営に関する実績を通じて、和楽器のワークショップ及び、イベント運営に関する能力を有する。

- ・高校生、大学生のボランティア募集に関する能力

上記イベントなどを通じて、若者のボランティア参加を受け付け、イベント参加者・ボランティア参加者ともに満足度の高い運営を実施することができる。

### ( 2 ) 能力の活用

\* 課題解決に向けて、団体の能力がどのように役立ちますか。

- ・プログラムの開発、実施に最適なアーティストの調整が可能となる。(既に調整済み)
- ・ボランティアスタッフの募集が可能となる。(倉敷市内の高校等と継続的な関係あり)
- ・イベントでの発表の場を提供することができる。(過去 3 年間の実績あり)

## 7 事業内容とスケジュール

### ( 1 ) 事業の具体的な内容

- ・聴覚障害者施設等への訪問、聞き取り、お試し体験

日時：平成 29 年 6 月ごろ 講師：美鵬直三郎 ( 鳴り物・和太鼓 / 美鵬流 )

訪問先 ( 候補 ) : N P O 法人岡山県聴覚障害者支援センター、岡山県聾学校

- ・聴覚障害者のための和太鼓体験ワークショップの開催

日時：平成 29 年 8 月ごろ 場所：倉敷市民会館 ( 大会議室 )

講師：美鵬直三郎 ( 鳴り物・和太鼓 / 美鵬流 )

- ・発表の機会

「備中邦楽の里フェスタ 2017 ( 平成 29 年 10 月頃を予定 )」にて、ワークショップの参加者が発表できる機会を設ける。

- ・プログラムの見直し、検討

本年度の活動から、聴覚障害向けの音楽体験プログラムの内容、および、その展開について、関係者を交えて、検討を行う。(平成 29 年 11 月頃を予定)

委員候補・案 ( W S 講師、聴覚障害者支援団体関係者、教育関係者 等 )

( 2 ) 事業のスケジュール

4 月	・団体内部による詳細検討 ・聴覚障害関連団体等との交流、意見交換、体験プログラムの開発
5 月	・チラシの作成
6 月	・参加者の募集 ・ボランティアの募集
8 月	・WS の開催
10 月	・発表の場の実施
11 月	・検討会の実施、体験プログラムの振り返り

8 目標

内容	現状	目標値
ワークショップの参加者	0 名	20 名
ボランティアの参加者	0 名	10 名
プログラムの開発	なし	プロトタイプの開発

9 受益者負担 団体の財源確保のため、可能な限り参加費や受講料などを徴収してください。

徴収する (見込み: 2,000 円 \* 20 名 = 40,000 円 )

徴収しない (理由: \_\_\_\_\_ )

10 事業の見通し

\*2 年後, 3 年後といった将来, 事業をどのように展開させますか。

( 初年度 )

- ・モデル開発 (本事業) 及びステークホルダーとの関係強化

( 2 年後 )

- ・規模の拡大 (参加者人数、ボランティア人数等を拡大、展開します)

( 3 年後 )

- ・聴覚障害者と健常者がともに参加出来る体験ワークショップの開催

聴覚障害をもつ皆さんと、聴覚障害をもたない皆さん (家族を含む) とが、ともに参加できる音楽体験プログラムを検討し、実施します。

11 他団体との協力

- \* 他団体と協力して事業を実施するときは、その団体名や役割を記入してください。
- ・ N P O 法人岡山県聴覚障害者支援センター（参加者の募集協力、プログラムへのアドバイス） / 岡山 N P O センターを通じて打診中。
  - ・ 岡山県聾学校（参加者の募集協力、プログラムへのアドバイス） / 打診予定。
  - ・ 一般社団法人日創楽育舎（協力アーティストとの調整、成果の普及） / 調整済み。

12 行政との協働 **自主事業コースの団体は記入不要です。**

\* 協働する市担当部署の名称，役割，協議をした日及び内容を記入してください。

## 収支予算書

## 1 収入の部

科目	内訳	金額(円) <sup>2</sup>	積算根拠
受益者負担	消耗品 実費	40,000 9,000	ばち購入 2,000円*20名 保険料自己負担9,000円(実費)
会費からの繰入		0	
その他	協賛金	30,000	10,000円*3団体
市補助金		300,000	
収入合計		379,000	(支出合計と一致)

## 2 支出の部

科目	内訳	金額(円) <sup>2</sup>	積算根拠
人件費(会員) <sup>1</sup>		0	
交通費(会員) <sup>1</sup>		0	
人件費(アルバイト等)	WS補助員	14,000	1名*2回*850円*8時間=13,600円
謝金(講師等)	WS講師 検討会 委員	90,000	1名*3回*2万円=6万円 3名*1回*1万円=3万円
旅費交通費(講師等)	WS講師	125,000	1名*3回*17,670円*往復=106,020円 宿泊 9,500円*2回=19,000円
消耗品費	配布資料等	10,000	コピー用紙等 10,000円
印刷製本費	チラシ印刷	25,000	デザイン・印刷 一式 25,000円
通信運搬費	参加通知等 和太鼓送料	6,000 30,000	100円*30通*2回=6,000円 和太鼓送料 3,000円*10個
保険料	イベント保険	9,000	150円*30名*2回=9,000円(実費)
使用料・賃借料	WS会場借料 楽器借料	10,000 20,000	1回*1回*1万円=2万円 和太鼓借料 2,000円*10個
外注費・委託費		0	
対象経費計		339,000	
食糧費		0	
人件費		0	
その他	消耗品 実費	40,000	ばち購入 2,000円*20名
対象外経費計		40,000	
支出合計		379,000	(収入合計と一致)

1: 会員に支払う人件費と交通費の合算額は、対象経費計の1割を上限とする。

2: 金額欄は切り上げて千円単位で記入してください。